

# 11月15日 キラキラ研修会 薬剤科「小児と妊婦の薬」



## 目標

- ・小児に用いる薬の長所 短所をしろ
- ・妊婦の薬の服用時期 投与経路 禁忌をしろ

小児に用いる薬の長所・短所  
錠剤を飲めるかは、個人差が大きい  
散剤は味や臭い、嵩が問題になりやすい  
シロップは1回量が正確に測れない  
入れる順番は、アンヒバ→ダイアップ坐薬の方が早く良く効くというわけではない

## 小児の服薬の実際

子どもの85%以上が薬を嫌がる傾向にある。  
マクロライド系抗生物質(クラリスなど)は酸性のものによって苦みが出てしまう。

小児へよく処方される薬の味  
カロナールは濃度が高いほど苦くなる。  
プレドニゾロン散はとても苦い。

妊婦への薬物投与は服用時期、投与経路、薬剤の危険度を考える。より安全な薬を選択。

授乳婦の情報は添付文書ではなく専門書籍  
(Mothers' Milk、妊娠と授乳、等)を参考にする。

